

アート&アクセス 第3回シンポジウム・公演

A+A 03

Social Inclusion on Stage

19 SAT-20 SUN 2011 3月

14:00-16:00

13:00-17:00

会場：大阪市立大学 田中記念館大ホール

参加費：参加費無料・参加申込み不要

主催：大阪市立大学都市研究プラザ

共催：ココルーム

後援：在大阪インドネシア共和国総領事館

芸術文化の働きによって社会的包摂に寄与する試みは、世界各地で成果を挙げつつあります。本イベントでは、パフォーミング・アーツの分野で顕著な実績をあげているイタリアと日本のグループの公演をお届けするとともに、このような活動の意義、方法について語り合います。公共性の保障は、格差や貧困など様々な困難を抱えている社会においては重要な課題です。誰でも参加できる社会をつくるためには、制度、慣習、意識などにおいてバリアや障壁を排除し、社会への接近可能性 (accessibility) を高くすることが望まれます。本イベントでは、芸術文化がそういった働きに積極的な役割を果たし、同時に、新たな創造の機会にもなることを検証します。

包摂社会

SOCIAL INCLUSION ON STAGE



アート&アクセス 第3回シンポジウム・公演

A+A 03

Social Inclusion on Stage

19 SAT - 20 SUN 2011 3月

14:00-16:00

13:00-17:00

会場：大阪市立大学 田中記念館大ホール

参加費：参加費無料・参加申込み不要 主催：大阪市立大学都市研究プラザ 共催：ココルーム
後援：在大阪インドネシア共和国総領事館

□ 3月19日(土) 13:30開場 14:00開演

公演《ガムラン・クリスタル：映しあう声と響きあう光》

出演：マルガサリ(ガムラン)、SHINGO★西成(ラップ)

排除と包摂、内と外といった排他的な関係を無化し、アートを通じた包摂をパフォーマンスにおいて表現。障害のある人や、実験的なアーティストとのコラボレーションによって越境を繰り返してきたマルガサリと、西成をベースに釜ヶ崎の日常を語り、歌い込む人気ラッパー、SHINGO★西成との初めての共演。

出演者プロフィール

・マルガサリ

1998年に大阪を拠点として創設。ジャワの古典音楽とともに、多ジャンルの音楽家、アーティストと共演し、ガムラン音楽の枠を拡張。障害のある人々との共同作品『さあ、トーマス!』を大阪、東京など日本各地で上演。新解釈の『桃太郎』が2008年にインドネシアで公演され、好評を博す。これまで海外から2回招聘される。音楽顧問はシスワディ、野村誠。

・釜ヶ崎バンド

2009年7月に結成。釜ヶ崎で暮らす人や、釜ヶ崎を生活の拠点にしている人、そしてその人達と歌を創っていきこうという人達で構成されたバンド。自分たちの生活を自分たちのことばで歌う。有名な歌を唄うと、著作権料を支払わなければならないので、自分たちでオリジナルな歌や芝居を創っている。

・大谷 煥

大阪生まれ。1991年から2001年までTORII HALL プロデューサー。1996年に「DANCE BOX」を立ち上げ、ジャンルを超えたコンテンポラリーダンスの公演・WSを企画制作する。2002年DANCE BOXをNPO法人化。アーティストの育成と地域社会とアートの新しい環境づくりに力を注いでいる。

・マッシモ・マッキヤヴェッリ

教師、俳優、演出家。ジャンフランコ・フェッリの助監督としてポーランド大学「音楽・演劇の他学部間センター」で経験を積み、1991年からは演技を同センターで演技を教えるに至る。現在はフラテルナル劇団ルーイ・ジュヴェ演劇学校を指揮している。また、イタリアだけでなく、海外でもコメディ・デッラルテの研修を行っている。

・上田假奈代

3歳より詩作、17歳から朗読をはじめ。92年から詩のワークショップを手がける。01年「詩業家宣言」を行う。03年ココルームをたちあげ「表現と自立と仕事と社会」をテーマに活動する。西成区山王で「インフォショップ・カフェ ココルーム」と「カマン!メディアセンター」を運営。NPO法人こえとことばとこころの部屋(ココルーム)代表。大阪市立大学都市研究プラザ研究補佐。

□ 3月20日(日) 12:30開場 13:00開演

公演《ポーニアの仮面劇：広場から、広場へ》

1. 「バランツォーネ博士の長講釈と旅」(フラテルナル劇団)

2. 「ワークショップ上演」(フラテルナル劇団+釜ヶ崎バンドほか)

脚本・演出：マッシモ・マッキヤヴェッリ

出演：フラテルナル劇団、釜ヶ崎の人々

本公演用に制作された、抱腹絶倒の話題作。コメディ・デッラルテの仮面たち-西洋社会を何世紀にも渡って象徴してきた世界共通の人物像-によって即興を交えて展開するコミカルな旅への誘い。さらに、釜ヶ崎の人々とのワークショップの成果を上演する。

ワークショップ見学可。

問い合わせはココルーム (tel&fax. 06-6636-1612) まで。

□ 3月20日(日) 15:30

シンポジウム《社会に浸透するアート》

出演：佐々木雅幸(司会)、大谷煥、マッシモ・マッキヤヴェッリ、上田假奈代

グローバル化が沸騰した現代は、貧困や格差といった社会的問題に満ちている。アートはいかにそれらに寄り添い、解決をはかろうとしているのか。アートの社会的意義について真正面から議論を挑む。

・舞台監督：村川拓也 ・照明：滝本二郎、後藤綾平、坂本幸子 ・音響：勝藤珠子

・SHINGO★西成

「今に見とけよ!」精神と冷静な視点、「間」を活かした独自のソウルフルな「ベしゃり芸」は、関西シーンの中で突出。KREVA, サイプレス上野&ロベルト吉野, NG HEAD, Home Grown, INFINITY16, 香西かおり, 大西ユカリ, 赤井英和などの競演が示すクロスオーバーな資質、ユニークであったかいか人間性ゆえに、「ジャンルを超えた存在」として注目される、西成をベースに活動する「大阪名物」ラッパー。

・佐々木雅幸

2010年にエルゼビア社から刊行された国際学術誌 City, Culture and Society (CCS)の編集長を務める。文化経済学会<日本>会長(2008年~2010年)。著書に『創造都市の経済学』『創造都市への挑戦』『創造都市と社会包摂』(共編著)等がある。日本における創造都市研究の第一人者。大阪市立大学大学院創造都市研究科教授、同都市研究プラザ所長。

・フラテルナル劇団

2000年設立。コメディ・デッラルテ(「アルテ」という言葉は「職業」を意味していた)を通じて演劇が花開いて行ったルネッサンス期に発想を得、数多くのプロジェクトと作品を通して仮面劇の伝統を復興し、生かしてきた。また、ユネスコと国際演劇協会(ITI)イタリア本部の後援を受け、2010年ポーニアで第一回世界におけるコメディ・デッラルテの日をオーガナイズした。

宿泊特割

本公演等を鑑賞のため、3/15~3/22にホテル中央セレーネに宿泊される方は、予約時にその旨を伝えると、1割引となります。住所：大阪市西成区太子1-1-11 連絡先：TEL 06-6647-2758 アクセス：地下鉄御堂筋線・堺筋線「動物園前」下車1分

・会場：

大阪市立大学 田中記念館大ホール

住所：大阪市住吉区杉本3-3-138

アクセス：JR阪和線「杉本町(大阪市立大学前)駅」下車、東へ徒歩約5分

・地下鉄御堂筋線「あびこ駅」下車、4号出口より南西へ徒歩約20分

・お問合せ先：

大阪市立大学都市研究プラザ

電話：06-6605-2070 メール：office@ur-plaza.osaka-cu.ac.jp

